



通信

HP 学校だより
R5.12.21
NO.33
文責 伊藤美佳



遊学のすすめ

豊坂小学校の来賓玄関には、「遊学心」と書いてある額が飾られています。「遊び」が子どもにとってどれだけ大切なのかを示してくれる言葉だと思い、いつも眺めています。（もちろん大人にとっても大切です。）



先日、3年生の子たちが「秘密基地」を作っていました。秘密基地づくりは、子どもたちにとって楽しい創造の世界が広がります。お互いにコミュニケーションをとること、役割分担をすることなど、社会生活を営む上で必要な力がついていくことがほほえましいです。もちろん、学校内は「公（おおやけ）の場」ですので、勝手なことは許されません。例えば、基地づくりをしていい場所かどうか、使っていいものかどうかを見極めたり、迷ったときには先生に確認したりすることが必要です。これも、社会で生活する上で大切なことです。「失敗しながら学ぶ」彼らを頼もしく感じます。

昨年も秘密基地を作っていましたが、「○年が、△△をとった。」とか「□が、壊した。」などのトラブルが多かったように思います。今回、3年生が「1年生が秘密基地を作りたいと言うから、自分たちが前作ったのをあげたよ。」と言っていました。それを聞いて、1年で成長したものだとうれしくなりました。1年生は、「遊んでもらう」のではなく、もらった基地をもとに、自分たちの世界を創る喜びを感じて楽しめるというなと思いました。

自分たちの世界、遊びを創るおもしろさを味わえたら、きっと心が豊かになるだろうと思います。

感謝を表す

明日で、2学期が終了します。子どもたちは、2学期を振り返り、冬休みを迎えます。

2学期も、保護者の方々はもちろん、地域の皆様方より、子どもたちの見守りをはじめ、教育活動へのご支援をいただき、ありがとうございました。

20日（水）には、3年生と6年生が「なすおじさん感謝の会」を行いました。3年生も6年生も、感謝の会を行うために、アイデアを出し合い、準備し、会の運営を行っていました。なすおじさんに感謝の気持ちを伝え、喜んでもらえたことで自分に自信がついた子もいると思います。

感謝の気持ちを伝え、相手に喜んでもらえることが、自分の喜びや自信になる。そんな経験がたくさんできる豊坂小でありたいです。

